

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境			0.40					3.0
1 音環境			3.0		3.1	1.00		3.0
1.1 騒音			3.0	0.50	3.0	0.50		
1.1.1 騒音								
1 室内騒音レベル			3.0	1.00	3.0	0.50		
2 設備騒音対策			-	-	3.0	0.50		
1.2 遮音			3.0	0.50	3.2	0.50		
1.2.1 遮音								
1 開口部遮音性能			3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		LL45、レベル4相当のフローリングを使用。	3.0	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音			-	-	3.0	-		
2 温熱環境			2.6	0.35	3.0	1.00		2.8
2.1 室温制御			3.0	0.50	3.0	1.00		
2.1.1 室温			3.0	0.63	3.0	0.63		
2 負荷変動・追従制御性			-	-	-	-		
3 外皮性能			3.0	0.38	3.0	0.38		
4 ソーン別制御性			-	-	-	-		
5 温度・湿度制御			-	-	-	-		
6 個別制御			-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮			-	-	-	-		
8 監視システム			-	-	-	-		
2.2 湿度制御			1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式			3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境			2.4	0.25	3.2	1.00		2.9
3.1 昼光利用		LD昼光率は2.0%以上で計画。Bタイプの昼光率は3.3%	3.0	0.30	3.4	0.50		
3.1.1 昼光率			3.0	0.60	5.0	0.50		
3.1.2 方位別開口			-	-	1.0	0.30		
3.1.3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策			1.0	0.30	3.0	0.50		
3.2.1 照明器具のグレア			-	-	-	-		
3.2.2 昼光制御			1.0	1.00	3.0	1.00		
3.2.3 映り込み対策			-	-	-	-		
3.3 照度			3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御			3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境			3.6	0.25	3.3	1.00		3.4
4.1 発生源対策		建材は、ほぼ全面的にJIS、JAS規格のFを使用。	4.0	0.60	4.0	0.63		
4.1.1 化学汚染物質			4.0	1.00	4.0	1.00		
4.1.2 アスベスト対策			-	-	-	-		
4.1.3 ダニ・カビ等			-	-	-	-		
4.1.4 レジオネラ対策			-	-	-	-		
4.2 換気			3.0	0.40	2.3	0.38		
4.2.1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33		
4.2.2 自然換気性能			3.0	-	3.0	0.33		
4.2.3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	1.0	0.33		
4.2.4 給気計画			-	-	-	-		
4.3 運用管理			-	-	-	-		
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視			3.0	-	-	-		
4.3.2 喫煙の制御			3.0	-	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-		3.2
1 機能性			3.0	0.40	3.8	1.00		3.5
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	4.0	0.60		
1.1.1 広さ・収納性			3.0	-	3.0	-		
1.1.2 高度情報通信設備対応		各住戸ごとに100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能	3.0	-	4.0	1.00		
1.1.3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性			3.0	0.30	3.5	0.40		
1.2.1 広さ感・景観		住戸居室の天井高さを2.5m以上としている。	3.0	-	4.0	0.50		
1.2.2 リフレッシュスペース			3.0	-	-	-		
1.2.3 内装計画			3.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-		
1.3.1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-		
1.3.2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-		
1.3.3 衛生管理業務			-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			2.8	0.31	-	-		2.8
2.1 耐震・免震			3.0	0.48	-	-		
2.1.1 耐震性			3.0	0.80	-	-		
2.1.2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			2.9	0.33	-	-		
2.2.1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23	-	-		
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.23	-	-		
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			2.0	0.09	-	-		
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08	-	-		
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.15	-	-		
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23	-	-		

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.6	0.19	-	-	
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				2.8	0.29	3.3	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			階高を2.9m以上としている。	-	-	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	3.0		-	4.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ	3.0		-	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				2.8	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	2.0		0.17	-	-		
2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-			
3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-			
4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-			
5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-			
6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.1
1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			自動点滅制御と人感センサーによる照明の効率化を図っている。	3.3	0.40	-	-	3.3
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)			#VALUE!	5.0	-	-	-	
集合住宅の評価				3.3	-	-	-	
4 効率的運用				-	-	-	-	-
4.1	モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				2.2	0.15	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.63	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			洋風節水便器・外壁タイル・パーティクルボード	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		不活性ガス消火剤を使用している。	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3	冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率95%	3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		駐車場確保に配慮。荷捌等に使用できるスペースを設けている。	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	0.33	-	-	
2	振動			3.0	0.33	-	-	
3	悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明を行っていない。	4.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	